

# 令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

( 令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	816000-01-10
事務事業名	文化財保護事業			担当部課	教育部 博物館
				電話番号	04-2934-7711 内線
総合計画 基本計画	施策の大綱	02	学びあいのまちづくり	実施期間	昭和41年 ~ 年
	政策(節)	03	社会教育の充実	その他の計画	
	施策(項)	04	文化財保護・活用の充実、伝統文		
予算事業名	指定文化財保護費			予算事業番号	2252, 2253
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補助・直営)			
事業開始の背景・経緯	市内での文化財指定は、国が昭和24年、県が昭和35年、市が昭和42年から行われている。さらに国登録文化財の登録は平成13年から行われている。これまでに調査・研究による成果や保存活用の観点から指定・登録が行われており、現在の件数は、国指定2件、県指定3件、市指定70件、国登録3件の合計78件である。これらの文化財については、将来にわたり保存していくとともに、文化財の特質を生かした活用を図っていく必要がある。				

## 2 事務事業の目的・内容

対象	全市民及び市内に所在する貴重な文化財	実施の根拠 (法令・条例等)	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、入間市文化財保護条例
目的 (もたらそうとする成果)	長い歴史の中で育まれてきた文化財は、地域の歴史・文化を正しく理解する上で欠くことのできないものであり、将来にわたり大切に保存していくことが重要である。それら文化財を活用していくことで、市民文化の向上につなげるとともに、市民の地域への理解と郷土への愛着を深めることができる。		
全体の事業内容	後世に伝えていく必要のある文化財を新たに指定するとともに、指定文化財の保護、保存に必要な事業に対して経費の一部を補助していく。また、説明板の設置や文化財刊行物の発行、文化財講座等により、市民へ文化財の情報を提供し、多くの市民に文化財の魅力を知ってもらうことで文化財保護につなげていく。		

## 3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の実施内容 指定文化財の保存に必要な事業に対して補助金等を支出することで、指定文化財の保護・保存に努めた。また、文化財説明板の設置や、市民向けの文化財講座を開催することで文化財の保護啓発を図った。なお、文化財講座については、1講座が感染症対策のため中止になった。

区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
実施状況	① 指定文化財補助金、管理報償金交付額	目標値又は前年度値	円	823,000	1,007,000	1,244,000	1,557,000	目標値(当初予算措置)
		実績値	円	823,000	1,007,000	1,244,000		
		達成率又は前年度比	%	100	100	100		
	② 説明板設置(修繕を含む)件数	目標値又は前年度値	件	3	1	0	2	目標値
		実績値	件	4	1	0		
		達成率又は前年度比	%	133.33	100			
	③ 文化財講座等回数	目標値又は前年度値	回		3	3	2	目標値
		実績値	回		3	2		
		達成率又は前年度比	%		100	66.67		
	④	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
成果	① 指定文化財件数	目標値又は前年度値	件	73	75	75	76	指定文化財指定件数
		実績値	件	74	75	75		
		達成率又は前年度比	%	101.37	100	100		
	②	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの  
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	1,319 千円	1,270 千円	1,253 千円	1,557 千円	
		決算(見込)額 ①	1,719 千円	1,126 千円	1,244 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.2 人	0.4 人	0.5 人	
			嘱託・再任用	0.1 人	0.2 人	0.1 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人件費 ②	1,567 千円	3,618 千円	3,744 千円		
	総事業費 ③=①+②		3,286 千円	4,744 千円	4,988 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		3,286 千円	4,744 千円	4,988 千円			
効率性 指 標	指標名	指定文化財件数 ⑦	74 件	75 件	75 件		
	コスト	文化財 1 件当たり ③÷⑦	44,405 円	63,253 円	66,506 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今後の方向性
	指定文化財の保存に必要な事業に対して、補助金の支出等により保存につなげた。また、文化財に関する講座やフィールドワークを開催することで、市民が文化財へ親しむ機会を創出した。なお、文化財所有者と連携を深めることで、文化財の周知に向けた新たな取り組みを進めることができた。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改善の評価
	郷土の歴史を理解する上で欠かすことのできない文化財について、調査を通じてその価値を掘り起こし、文化財としての指定や他の様々な手法により保護保存を図っていく。また、文化財を通して市民が郷土への愛着や誇りを持てるように、文化財を生かした事業に関しても取り組んでいく。		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	令和 2年度の取り組み課題		
	郷土の歴史・文化の鏡となる貴重な文化財について、様々な手法により保護保存を図っていく。また、各地区におけるフィールドワークの開催や文化財ガイドマップの配布等を通して、市民が文化財を身近に感じることで、郷土への愛着や誇りが持てるような事業を進めていく。		
令和 3年度の取り組み課題			
令和 2年度の事業結果を踏まえつつ、引き続き改善に向けて取り組んでいく。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	文化財の保護は、地域の歴史や文化を後世に継承するために重要な事業である。今後は、学習機会や情報を積極的に提供することにより、文化財の保護・継承の意識を啓発していくことが必要である。また、文化財を活用することで、市民文化の向上及び市の魅力の発信につながるような事業展開が必要である。なお、投入される人員数が微増傾向にあるので、要因を分析するなど効率化についても検討を行う必要がある。